

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	川上村児童生徒姿勢評価事業
事業主体 (連絡先)	川上村 (川上村教育委員会 0267 - 97 - 2600)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	595,860 円 (うち支援金: 476,000 円)

事業内容

姿勢を数値化し、昨年度の点数と比較した。また、身長や肥満度、体力テストの結果などとの相関を調査した。さらに、学校主体で取り組む体制づくりを進めるため、4月に1回目の職員講習を実施し、姿勢評価事業の理解や目的、指導方法等を共有したところ、授業の初めにストレッチを取り入れたり、体操をつくるなどの取り組みにつながった。



【フィードバックの様子】

◇参加人数 測定：小学生 159名、中学生 113名
(川上村全児童・生徒数 児童 162名、生徒 113名)
その他指導：教職員 49名 (三校職員全員)、保護者
園児 97名、保育士 12名

【目標・ねらい】

- ① 児童生徒の姿勢への意識向上
- ② けがの減少
- ③ 学校主体の体制づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・正しい姿勢を意識している児童生徒の割合(昨年度比)
実績 川上第一小学校 -3%減少 (79名/89名)
川上第二小学校 8%増加 (63名/73名)
川上中学校 4%増加 (81名/113名)
- ・ケガについて(減少した割合)
実績 川上第一小学校 63% (54名/86名)
川上第二小学校 52% (34名/65名)
川上中学校 17% (13名/78名)
- ・

※自己評価【 B 】

【理由】

正しい姿勢を意識する児童・生徒は学校によりばらつきが出ており、目標には到達しなかった。しかし、学校ごとに職員が工夫し、体操づくりやストレッチ等を取り入れ、学校主体で取り組む体制づくりができつつあり、来年度につながる取り組みとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度も姿勢測定の点数の変化を見ていくとともに、身長や肥満度、体力テスト、学力テスト等との相関を調査していきたい。また、学校だけではなく、保護者や村民に向けた柔軟性や腰痛等の課題に対応したストレッチを紹介するなど、関係機関と連携して啓発していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある